

次回合同サイエンスフェスタ (第7回 MLF シンポジウム / 第33回 PF シンポジウム) 開催のお知らせ

PF シンポジウム実行委員会委員長 佐賀山基
MLF シンポジウム実行委員会委員長 丸山龍治

今回の合同サイエンスフェスタ(第7回 MLF シンポジウム/第33回 PF シンポジウム)を2016年3月14日(月)~16日(水)の日程で開催する予定となりました。会場はつくば国際会議場(エポカルつくば)です。このシンポジウムは、施設側スタッフ、ユーザーの皆様が一堂に会することのできる機会ですので、是非ご参加下さいますようお願い申し上げます。なお、次回も前回同様に MLF シンポジウムとの共同開催となります。

詳細が決まり次第ホームページや PF ニュース等で皆様にお知らせ致します。

KEK 一般公開のお知らせ

一般公開実行委員会
放射光科学第二研究系 仁谷浩明, 川崎政人
放射光科学第一研究系 船守展正

今年度の KEK 一般公開は9月6日(日)に開催されます。普段は見るることのできない施設や装置が多数公開となるほか、第一線で活躍する研究者による講演、こども向け体験コーナーなど、様々な企画を用意してお待ちしております。今年は国際光年(IYL2015)ですので、PFでは「光を使って解明する、物質・生命の謎」をテーマにした展示を行います。実際に分光器を組み立てて光のスペクトルを観察するコーナーや実際のビームライン機器を使った放射光実験の解説など、楽しく見て触って学べる展示を PF スタッフ一丸となって準備中です。毎年好評をいただいている景品付きクイズラリーも実施予定です。他に PF サイトでは物構研展示コーナーも設置し、放射光・中性子・ミュオン・低速陽電子それぞれのビームを利用した研究や J-PARC 施設の解説などを行います。また、ERL 開発棟では ERL 加速器が公開されます。今年は、村上洋一 PF 施設長による特別講演「放射光が明かす物質の不思議」と、今年度放射光科学第一研究系に着任した船守展正教授による講演「放射光で探る地球深部のマグマの構造と物性」が予定されています。他に KEK の全体企画としては、霧箱教室、小林誠杯クイズ王決定戦、科学おもちゃで遊ぼう!などが準備されており、お子さまからお年寄りの方まで楽しめるような企画が盛りだくさんですので、放射光ユーザーの皆様

も普段とは異なる KEK を楽しんでいただけたと思います。ご家族、ご友人お誘い合わせのうえ、KEK 一般公開にお越しいただきますよう職員一同心よりお待ちしております。

一般公開当日はつくばセンター(つくばエクスプレス「つくば駅」下車すぐ)と KEK 間の無料送迎バスが運行されます。自家用車でお越しの方は、KEK 内に臨時駐車場を設置しますので直接 KEK までお越しください。KEK 内では無料の巡回バスを運行しますので構内の移動にご利用ください。KEK 一般公開に関する詳しい情報は <https://www2.kek.jp/openhouse/> をご参照ください。物構研特設サイト (<http://www2.kek.jp/imss/news/2015/topics/openhouse/>) もあります。

1. 日時: 2015年9月6日(日) 9:00~16:30

2. 公開施設:

フォトンファクトリー, ERL 開発棟, 電子陽電子入射器, SuperKEKB 加速器, BelleII 測定器, コッククロフト・ウォルトン型高電圧加速器, 超伝導低温工学センター, 計算科学センター, 放射線科学センター, 機械工学センター, 先端計測実験棟, 常設展示ホール「KEK コミュニケーションプラザ」など

3. 展示:

国際共同実験(CERN-LHC ATLAS 実験など), 大強度陽子加速器施設 J-PARC (T2K ニュートリノ振動実験, ハドロン実験など), 素粒子理論研究, 史料室展示など

4. 講演:

■特別講演(小林ホール):

◇ 11:00~12:00 「放射光が明かす物質の不思議」

村上洋一(KEK 物質構造科学研究所 教授)

◇ 14:00~15:00 「質量の起源ヒッグスを追う」

花垣和則(KEK 素粒子原子核研究所 教授)

■講演(3号館セミナーホール):

◇ 10:00~10:45 「世界最強の加速器 SuperKEKB (スーパーケックビー) が目指すもの」

船越義裕(KEK 加速器研究施設 教授)

◇ 13:00~13:45 「アインシュタインの予言する宇宙~新しい重力波天文学を目指して~」

都丸隆行(KEK 共通基盤研究施設 准教授)

◇ 15:15~16:00 「放射光で探る地球深部のマグマの構造と物性」

船守展正(KEK 物質構造科学研究所 教授)

5. その他の主な企画:

○第4回小林誠杯クイズ王決定戦○霧箱教室○ラジオを作ってみよう○量子色力学カードゲーム○なんでも質問コーナー など。

防災・防火訓練のお知らせ

放射光科学第二系 防火・防災担当
丹羽尉博・山田悠介・松岡亜衣

高エネルギー加速器研究機構の本年度の防災・防火訓練が2015年10月29日(木)午後実施されます(実施日が天候不良等で延期の場合2015年11月12日(木)の午後に実施されます)。

訓練では、緊急地震速報が発令された場合の対処、地震発生後の機構指定避難場所(PFニュース裏表紙参照)への避難・誘導、避難場所での職員・ユーザーの安否確認などを行います。訓練当日は、PFはマシンスタディですがPF-ARはユーザー運転中であり、実験を中断し訓練に参加して頂く必要があります。昨今の厳しい運転状況の中で、実験の中断をお願いするのは大変心苦しいですが、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

東日本大震災が発生した日はその日の朝に運転が終了し、実験ホールにはユーザーの方はあまりいらっしゃいませんでしたが、これまで毎年ユーザーの皆様にもご協力いただき訓練を行っていたこともあり、ユーザー、職員は訓練どおりに避難し、安否確認なども迅速に行うことができました。実験装置の転倒、落下などの被害はあったものの、幸いにして人的被害が全くなかったことは、日ごろのユーザーの皆様の方の防災意識と、毎年の方の防災・防火訓練に起因していると確信しております。

PFでは、多くのユーザーが閉じられた空間で実験を行っており、放射線や化学薬品、高圧ガスなども扱っていますので、非常時には迅速な対応が取れるよう、日頃の訓練が極めて重要と考えていますので、一人でも多くの方に参加して頂けますようご協力をよろしくお願い致します。

平成28年度前期 フォトン・ファクトリー研究会の募集

放射光科学研究施設長 村上 洋一

物質構造科学研究所放射光科学研究施設(フォトン・ファクトリー)では放射光科学の研究推進のため、研究会の提案を全国の研究者から公募しています。この研究会は放射光科学及びその関連分野の研究の中から、重要な特定のテーマについて1~2日間、高エネルギー加速器研究機構のキャンパスで集中的に討議するものです。年間6件程度の研究会の開催を予定しております。

つきましては研究会を下記のとおり募集致しますのでご応募下さいますようお願い致します。

記

1. 開催期間 平成28年4月~平成28年9月

2. 応募締切日 平成27年12月18日(金) 〔年2回(前期と後期)募集しています〕

3. 応募書類記載事項 (A4判, 様式任意)

- (1) 研究会題名(英訳を添える)
- (2) 提案内容(400字程度の説明)
- (3) 提案代表者氏名, 所属及び職名(所内, 所外を問わない)
- (4) 世話人氏名(所内の者に限る)
- (5) 開催を希望する時期
- (6) 参加予定者数及び参加が予定されている主な研究者の氏名, 所属及び職名

4. 応募書類送付先 (データをメールに添付して送付)

放射光科学研究施設 主幹秘書室 濱松千佳子
Email: pf-sec@pfqst.kek.jp TEL: 029-864-5196

なお、旅費、宿泊費等については実施前に詳細な打ち合わせのうえ、支給が可能な範囲で準備します(1件当り上限50万円程度)。開催日程については、採択後にPAC委員長と相談して下さい。また、研究会の報告書をKEK Proceedingsとして出版していただきます。

平成28年度前期共同利用実験課題公募 について

高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所の放射光科学研究施設(フォトン・ファクトリー)は、電子蓄積リングから放出される放射光を用いて研究を行うための全国共同利用研究施設です。

今回の公募は10月上旬から受付開始し、締切は11月中旬を予定しております(低速陽電子実験施設の共同利用実験課題を併せて公募します)。

申請は専用Webページ(<https://pmsweb.kek.jp/k-pas>)にアクセスして、必要事項を入力して下さい。これまでPFを利用されていない方は新規にユーザー登録が必要になりますので、余裕を持って申請ください。締切時間はWebシステムで設定されており、少しでも締切時間をすぎますと受け付けられなくなりますので十分ご注意ください。2月に審査結果の速報が電子メールで送られる予定です。採択された課題は平成28年4月に有効となり、実験が開始できます。

公募要項は「実験・研究公募要項(放射光共同利用実験)」(<http://www2.kek.jp/uskek/apply/pf.html>)をご覧ください。PFのホームページ「PFで放射光利用実験を行うには(利用プログラム)」(<http://www2.kek.jp/imss/pf/use/program/>)にも詳細を掲載しています。

予 定 一 覧

2015 年

9 月 6 日	KEK 一般公開 (KEK)
10 月 19 日	PF 平成 27 年度第二期ユーザー運転開始
10 月 6 日	PF-AR 平成 27 年度第二期ユーザー運転開始
10 月 29 日	防災・防火訓練
12 月 18 日	平成 28 年度前期フォトン・ファクトリー研究会応募締切
12 月 21 日	PF, PF-AR 平成 27 年度第二期ユーザー運転終了

2016 年

1 月 9 日～11 日	第 29 回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム (東京大学柏の葉キャンパス)
3 月 14 日～16 日	合同サイエンスフェスタ (エポカルつくば)

※最新情報は <http://pfwww.kek.jp/spice/getschtxt> をご覧下さい。

第 29 回日本放射光学会年会・ 放射光科学合同シンポジウム開催要項

1. 開催日 2016 年 1 月 9 日(土), 10 日(日), 11 日(月・祝)
2. 場所 ○東京大学柏の葉キャンパス駅前サテライト(東京大学フューチャーセンター推進機構)
(千葉県柏市若柴 178-4-4)
○柏の葉カンファレンスセンター(三井ガーデンホテル柏の葉)
(千葉県柏市若柴 178-4 柏の葉キャンパス 148 街区 2)
○オークビレッジ柏の葉
(千葉県柏市若柴 184-1 柏の葉キャンパス 149 街区 1)
3. 主催 日本放射光学会
共催 東京大学物性研究所軌道放射物性研究施設、大阪大学蛋白質研究所、科学技術交流財団
あいちシンクロtron光センター、九州大学シンクロtron光利用研究センター、高エネルギー
加速器研究機構放射光科学研究施設、高輝度光科学研究センター、佐賀県立九州シンクロ
tron光研究センター、佐賀大学シンクロtron光応用研究センター、産業技術総合研究所計
測フロンティア研究部門、自然科学研究機構分子科学研究所極端紫外光研究施設、
SPring-8 ユーザー協同体(SPRUC)、東京大学放射光連携研究機構、東京理科大学総合研
究院赤外自由電子レーザー研究センター、東北七国立大学東北放射光施設推進室、名古
屋大学シンクロtron光研究センター、日本原子力研究開発機構、日本大学電子線利用研究
施設、PF-ユーザアソシエーション(PF-UA)、兵庫県立大学 New SUBARU、広島大学放射光
科学研究センター、VUV・SX 高輝度光源利用者懇談会、UVSOR 利用者懇談会、理化学研
究所放射光科学総合研究センター、立命館大学SRセンター、立命館大学卓上型放射光セ
ンター
4. 組織委員会([]は推薦団体, ()は所属機関, ○は委員長)
雨宮健太[KEK-PF]、有馬孝尚[プログラム副委員長(東大)]、石井賢司[原子力機構]、
太田俊明[立命館大 SR]、郭其新[佐賀大]、木下豊彦[学会会計幹事(JASRI)]、木村
真一[UVSOR 懇(阪大)]、木村宏之[東北放射光施設推進室]、解良聡[分子研]、佐々
木園[SPRUC(京都工繊大)]、澤田正博[HiSOR]、○篠原佑也[学会行事幹事(東大)]、
清水敏之[PF-UA(東大)]、辛埴[実行委員長(東大物性研)]、瀬戸山寛之[SAGA-LS]、
副島雄児[九大]、高嶋圭史[名大]、竹田美和[AichiSR]、築山光一[東京理科大]、豊
川弘之[産総研]、新部正人[兵庫県立大]、早川恭史[日大]、原田慈久[東大物性研]、
深井周也[東大放射光連携]、藤森淳[プログラム委員長(東大)]、間瀬一彦[VUV・SX
懇(KEK-PF)]、松下智裕[JASRI]、松田巖[副実行委員長(東大物性研)]、村上洋一[学
会会長(KEK-PF)]、山下栄樹[阪大蛋白研]、山田廣成[立命卓上 SR]、山本雅貴[理研
放射光セ]
5. プログラム要綱
 - ・ 9 日午後に総会、特別講演を開催予定です。
 - ・ 10 日夕方に懇親会を開催予定です。
 - ・ 10 日、11 日は企画講演、オーラルセッション、ポスターセッション、企業展示、施設報告等を行う
予定です。

6. 参加費

	11月30日までに 支払	12月1日以降 (現地での支払いをお願いいたします。)
放射光学会員	6,000円	7,000円
共催団体(特別賛助団体)会員・職員	7,000円	8,000円
共催団体(上記以外)会員・職員	8,000円	9,000円
非会員	12,000円	13,000円
学生会員	3,000円	4,000円
学生非会員	4,000円	5,000円
懇親会(一般)	6,000円	7,000円
懇親会(学生)	3,000円	4,000円

- ・ 発表申込時に参加登録を一緒に行っていただきます。その際、参加費および懇親会費の支払いの手続きも行ってください。事前の支払いは、クレジットカード払い、銀行振込が可能です。手続きの方法は、参加登録開始後放射光学会ホームページ上(<http://www.jssrr.jp>)でご確認ください。なお、参加をキャンセルされた場合の返金はいたしません。
- ・ 参加登録のみの場合も、同じく学会ホームページからできるだけ事前に行ってください。
- ・ 12月1日以降の参加登録、または、11月30日までに事前に支払手続きを行わない場合は、12月1日以降の参加費を現地受付でお支払いください。
- ・ 予稿集の事前送付は行いません。当日現地受付にてお渡しいたします。尚、12月上旬にホームページ上でアブストラクトを公開予定です。11月30日までに支払を済まされた方には、閲覧のためのパスワードを送付いたします。

7. 発表者資格

日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウムの一般講演・ポスターの発表者(登壇者またはポスターの発表の場合は説明者)は、①主催団体の日本放射光学会会員、または、②共催団体の会員か職員に限ります。

- (1) 共催団体の会員または職員で日本放射光学会会員となっていない方は、放射光科学の発展に学会が果たしている役割をご理解いただき、日本放射光学会に入会していただくことを強く希望します。
- (2) 発表申込み時点で上記の資格を有しない方は、発表当日までに資格を取得する必要があります。特に、日本放射光学会への入会申込み手続きを至急行っていただくことを希望します。
- (3) 発表者が日本放射光学会の会員、または共催団体の会員・職員である場合は、共同発表者の中に上記の資格を満たさない方が含まれていても差し支えありません。

8. 発表申込について

- ・ 受付開始: **2015年9月1日(火)**
- ・ 申込締切: **2015年10月1日(木) 17:00 厳守**
申込方法: 日本放射光学会ホームページ(<http://www.jssrr.jp>)を通して、発表申込、予稿集原稿提出、参加申込を行ってください。
- ・ ネットワークトラブル回避の為、締切日直前の申込みはなるべく避けて下さい。
- ・ 発表形式: オーラルとポスターがあります。希望される発表形式を選択して下さい。
- ・ 発表番号通知: 2015年11月上旬に日本放射光学会ホームページ上で公開いたします。

9. 予稿集原稿について

- ・ PDFファイルで作成の上、発表申込の際に投稿してください。
- ・ 原稿形式 発表1件につき、予稿は1/4ページ(A6/縦置き)です。(A4縦置き原稿4件を、50%に縮小してA4縦置きに4件並べます。)
- ・ カラー印刷は受け付けませんので、ご了承下さい。
- ・ A4(縦長)に下記の要領で文字を打ち込み、原稿を作成して下さい。
 - ①用紙の余白／上 2.5 cm, 下 1.5 cm, 左右 2.5 cm
 - ②1行目左端… 実験を行った施設名(12ポイント)
 - ③2行目中央… 表題(18ポイント)
 - ④3行目… 空ける
 - ⑤4行目中央… 著者名・所属(14ポイント)
 - ⑥5行目… 空ける
 - ⑦6行目… 本文(14ポイント)
- ・ 文字化けを避けるために必ずフォントを埋め込んでファイルを作成して下さい。

10. プログラムの掲載

- ・ プログラムは、11月上旬に日本放射光学会ホームページ上に掲載いたします。
- ・ 日本放射光学会誌「放射光」**第28巻6号(2015年11月末発行予定)**に掲載いたします。

11. 企画講演の公募

前回と同様に、会員全体から企画講演を公募します。企画講演の形式や応募先・締切等は以下を参照ください。

- ・ 時間配分:趣旨説明を含めて120分から180分の企画講演を、4枠予定しています。
- ・ 企画の提案者には、講演の最初に趣旨説明と会期終了後の報告書の提出をお願いします。
- ・ 応募先:日本放射光学会事務局(jssrinfo@jssrr.jp)宛に電子メールで、①企画講演タイトル、②提案理由(200字程度)、③講演者および時間配分を明記し、応募してください。
- ・ 応募締切:**2015年8月31日(月) 9:00 厳守**

12. 会場へのアクセス, 交通のご案内

○公共機関を利用する場合

JR 京浜東北線

東京駅 → 秋葉原駅 料金 140円 約3分

つくばエクスプレス線

秋葉原駅 → 柏の葉キャンパス駅(区間快速) 料金 670円 約32分

柏の葉キャンパス駅 から徒歩2分

○羽田空港を利用する場合

羽田空港よりリムジンバスにて90～120分(「柏の葉キャンパス」駅西口着)

○新東京国際空港(成田空港)をご利用の場合

リムジンバスで『JR 柏駅西口』まで約90分

「柏」駅～(東武アーバンパークライン[野田線]利用)～「流山おおたかの森」駅～(つくばエクスプレス利用)～「柏の葉キャンパス」駅

運転スケジュール(Sep. ~Dec. 2015)

E : ユーザー実験 B : ボーナスタイム
 M : マシスタディ T : 立ち上げ
 MA : メンテナンス HB : ハイブリッド運転

9月	PF	PF-AR	10月	PF	PF-AR	11月	PF	PF-AR	12月	PF	PF-AR
1(火)			1(木)			1(日)			1(火)	E	E
2(水)			2(金)			2(月)	E	E	2(水)	B	B
3(木)			3(土)			3(火)			3(木)	M	
4(金)			4(日)			4(水)	B	B	4(金)		
5(土)			5(月)			5(木)	M		5(土)		
6(日)			6(火)			6(金)			6(日)	E	E
7(月)			7(水)			7(土)			7(月)		
8(火)			8(木)	STOP	STOP	8(日)	HB	E	8(火)		
9(水)			9(金)			9(月)			9(水)	B	B
10(木)			10(土)			10(火)			10(木)	M	M
11(金)			11(日)			11(水)			11(金)		
12(土)			12(月)			12(木)	MA/M	M	12(土)		
13(日)			13(火)			13(金)			13(日)	E	E
14(月)			14(水)			14(土)			14(月)		
15(火)	STOP	STOP	15(木)	T/M		15(日)	E	E	15(火)		
16(水)			16(金)			16(月)			16(水)	B	B
17(木)			17(土)			17(火)			17(木)		
18(金)			18(日)			18(水)	B	B	18(金)		
19(土)			19(月)			19(木)			19(土)	E	E
20(日)			20(火)			20(金)			20(日)		
21(月)			21(水)			21(土)	E	E	21(月)		
22(火)			22(木)		T/M	22(日)			22(火)		
23(水)			23(金)	E		23(月)			23(水)		
24(木)			24(土)			24(火)			24(木)		
25(金)			25(日)			25(水)	B	B	25(金)	STOP	STOP
26(土)			26(月)			26(木)	M	MA/M	26(土)		
27(日)			27(火)		E	27(金)			27(日)		
28(月)			28(水)	B	B	28(土)	E	E	28(月)		
29(火)			29(木)	M		29(日)			29(火)		
30(水)			30(金)		E	30(月)			30(水)		
			31(土)	E					31(木)		

スケジュールは変更されることがありますので、最新情報はPFホームページ(<http://www2.kek.jp/imss/pf/>)の「PFの運転状況／長期スケジュール」(<http://www2.kek.jp/imss/pf/apparatus/schedule/>)をご覧ください。